

情報処理技術セミナー

2019年度のテーマ：Shibboleth 環境の構築ならびに IDaaS による実現

国立情報学研究所を中心として、学内サービスや商用電子ジャーナル等のシングルサインオンを実現する学術認証フェデレーション「学認」の構築を推進している。この学認が使用する技術である Shibboleth について解説するとともに、Shibboleth 環境の構築実習もしくは IDaaS による同等環境構築の実習を実施し、各機関の認証基盤構築に必要な知識を修得する。

1. 目的

学認の参加に必要となる、Shibboleth もしくは同等な認証連携の知識と、それをを用いた認証連携のための基盤の構築技術を修得する。

2. 到達目標

機関内において、Shibboleth による認証基盤もしくは同等環境の構築を行い、学認への参加と安定したサーバ運用を行うことができるようになる。

3. 受講対象者

(1) 所属機関

教育・研究機関等(大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、独立行政法人、施設等機関、国立国会図書館等)。

(2) 担当業務

情報処理関連部署に勤務し、機関内のシステム運用・管理に係る業務を担当、もしくは6か月以内の担当を予定している教職員。

(3) 知識・技術

今年度のテーマを遂行するにあたっては、「4. 受講の前提となる知識・技術」の要件を満たしていることが必須となる。

4. 受講の前提となる知識・技術

- Linux の基本的なコマンドの操作ができ、なおかつテキストエディタでファイルの編集ができること。
- 各種サーバの構築をした経験がある、またはそれに準ずる知識を有すること。
- 一般的な OSS(Open Source Software)のインストールを行うことができること。
- (活用編のみ)Shibboleth 環境を構築した経験を有すること。

5. 開催会場・開催期間等

開催場所	回	開催日時	申込締切日	定員
国立情報学研究所	1	基礎編 2019.7.18(木)～7.19(金)	10:00 2019.5.31(金)	各回 18名
	2	活用編 2019.8.29(木)～8.30(金)	～ 2019.7.5(金)	
	3	IDaaS 編 2019.11.7(木)～11.8(金)	17:00 2019.9.6(金)	

6. 主な研修内容（予定）

- 基礎編
 - ◇ Shibboleth に関する基礎知識
 - ◇ Shibboleth 環境の構築
IdP(IdentityProvider)、SP(ServiceProvider)構築実習
IdP、SP 間の連携(講義・実習)
- 活用編
 - ◇ 構築された Shibboleth 環境に対してアドバンストな機能の実現実習
- IDaaS 編
 - ◇ 認証連携および学認に関する基礎知識
 - ◇ IDaaS 環境の構築・テスト・カスタマイズ

7. 受講の申込みと受講者の決定

受講希望者の所属機関が、研修申込システムから申込みを行う。申込後に出力される「推薦書」により、各所属機関の長または所属部局の長から国立情報学研究所長に対して、受講希望者の推薦を行う。

国立情報学研究所長は、推薦された者の中から受講者を選考し、各所属機関の長または所属部局の長に対して結果を通知する。

※申込み手順の詳細は、『研修申込システム利用手順』を参照。

8. 経費

研修費および教材費	無料
旅費	所属機関の負担

9. 修了証書

この研修において所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。